

2020年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月13日

上場会社名 日本コンセプト株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9386 URL <https://www.n-concept.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松元 孝義
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役財務経理部長 (氏名) 若園 三記生 (TEL) 03-3507-8812
 四半期報告書提出予定日 2020年8月13日 配当支払開始予定日 2020年8月31日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第2四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	6,069	△4.3	711	△29.8	718	△28.0	512	△26.7
2019年12月期第2四半期	6,341	6.9	1,013	14.3	997	13.5	699	13.7

(注) 包括利益2020年12月期第2四半期 462百万円(△28.5%) 2019年12月期第2四半期 646百万円(13.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	36.97	—
2019年12月期第2四半期	50.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第2四半期	19,041	11,110	58.3
2019年12月期	18,971	10,856	57.2

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 11,110百万円 2019年12月期 10,856百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2020年12月期	—	15.00	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

2020年12月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大が当社業績に及ぼす影響を現段階において合理的に算定することが困難であることから、前回発表(2020年6月19日)に引き続き未定としております。連結業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、四半期決算短信(添付資料)9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年12月期2Q	13,868,500株	2019年12月期	13,868,500株
-------------	-------------	-----------	-------------

② 期末自己株式数

2020年12月期2Q	679株	2019年12月期	648株
-------------	------	-----------	------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年12月期2Q	13,867,827株	2019年12月期2Q	13,867,960株
-------------	-------------	-------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

2020年12月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大が当社業績に及ぼす影響を現段階において合理的に算定することが困難であることから未定としております。連結業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。なお、詳細につきましては、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	増減額 (増減率)
売上高 (千円)	6,341,805	6,069,487	△272,318 (△4.3%)
営業利益 (千円)	1,013,735	711,410	△302,325 (△29.8%)
経常利益 (千円)	997,517	718,505	△279,011 (△28.0%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (千円)	699,857	512,749	△187,108 (△26.7%)
保有基数 (6月末時点)	7,903本	8,163本	260本 (3.3%)
稼働率 (6ヶ月平均)	75.6%	71.0%	△4.6%

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の大流行を受けて販売が落ち込む自動車を中心に、あらゆる業種で業績が低迷しております。輸出においては、経済活動の正常化が進む中国向けの取り扱いに持ち直しの動きがみられるものの、欧米向けの取り扱いが輸送機械等を中心に大きく下振れが見られ、減少傾向が続いております。

世界経済に目を向けますと、米国では経済活動の再開が進んだことで製造業の生産に持ち直しの兆しが見られます。また欧州ではロックダウンが段階的に緩和されて徐々に経済活動を再開しているものの、PMIは依然として「50」を下回っております。他方、一足早く経済活動が再開された中国では、工業生産は前年を上回る水準にまで回復し、成長率は前年同期比プラスに転換する見込みとなっております。

当社グループの事業におきましても、新型コロナウイルス感染症の拡散防止策として様々な国でロックダウンが実施されて貨物の移動が制限されたこともあり、タンクコンテナの需要と供給のバランスを予想することが不可能な状態となりました。このため、当社は2月13日に発表した業績予想から営業利益が30%以上下振れする可能性を6月19日の「2020年12月期の業績予想および中期経営計画の取り下げに関するお知らせ」にて公表いたしました。

このような厳しいビジネス環境下で取り扱い本数が前第2四半期連結累計期間における実績を下回るなか、当社グループは国内・海外を問わず全社挙げての営業活動を強化し、新しい取引の獲得に注力しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上は6,069百万円（前期比4.3%減）を確保するとともに、営業利益が当初の業績予想を30%以上下振れすることを回避し、711百万円（前期比29.8%減）の黒字を維持しました。同じく、経常利益においても、718百万円（前期比28.0%減）の黒字を計上することにいたしました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ70百万円増加（0.4%増）し、19,041百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ312百万円増加（4.9%増）し、6,724百万円となりました。売掛金が47百万円、その他流動資産が346百万円減少したものの、現金及び預金が706百万円増加したことが主な要因です。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ242百万円減少（1.9%減）し、12,317百万円となりました。その他有形固定資産が18百万円増加したものの、建物及び構築物（純額）が75百万円、タンクコンテナ（純額）が159百万円、無形固定資産が27百万円減少したことが主な要因です。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ183百万円減少（5.7%減）し、3,021百万円となりました。短期借入金が37百万円、リース債務が119百万円増加したものの、買掛金が5百万円、1年内返済予定の長期借入金が79百万円、未払法人税等が128百万円、その他流動負債が123百万円減少したことが主な要因です。

固定負債は、前連結会計年度末並みの4,909百万円（0.0%減）となりました。リース債務が64百万円減少したものの、長期借入金が46百万円、退職給付に係る負債が7百万円、その他固定負債が10百万円増加したことが主な要因です。

純資産は、前連結会計年度末に比べ254百万円増加（2.3%増）し、11,110百万円となりました。為替換算調整勘定が50百万円減少したものの、利益剰余金が304百万円増加したことが主な要因です。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は前連結会計年度末に比べて525百万円減少し、3,610百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とこれに係る要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、1,371百万円（前年同四半期は1,500百万円の収入）となりました。主な資金の増加要因は、税金等調整前四半期純利益717百万円と減価償却費605百万円であり、法人税等の支払額333百万円が主な資金の減少要因です。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は、1,400百万円（前年同四半期は174百万円の支出）となりました。主な資金の減少要因は定期預金の純増額1,238百万円と有形固定資産の取得による支出158百万円です。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出した資金は、472百万円（前年同四半期は874百万円の支出）となりました。主な資金の増加要因は、長期借入れによる収入408百万円であり、主な資金の減少要因は、長期借入金の返済による支出441百万円、リース債務の返済による支出269百万円、及び配当金の支払額207百万円です。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループにおきましては、2020年6月19日に開示しておりますとおり、世界的な新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、合理的な業績予想を算出するのが困難な状況であることから、2020年2月13日に公表した2020年12月期（2020年1月1日～2020年12月31日）の業績予想と中期経営計画を一旦取り下げ、「未定」としております。

これは感染症拡大に収束の目途が立たない中、欧米を中心とした経済活動の先行きについて依然として不透明な状況が続いている為であり、本日時点においても「未定」のままとしております。今後合理的な算定が可能となった時点で速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,273,789	4,980,470
売掛金	1,412,046	1,364,100
その他	727,107	380,731
貸倒引当金	△1,006	△812
流動資産合計	6,411,937	6,724,490
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,868,429	1,792,659
タンクコンテナ(純額)	7,503,482	7,344,168
土地	2,195,963	2,195,963
その他(純額)	432,724	450,903
有形固定資産合計	12,000,599	11,783,695
無形固定資産	286,131	258,979
投資その他の資産	272,854	274,372
固定資産合計	12,559,585	12,317,047
資産合計	18,971,523	19,041,537
負債の部		
流動負債		
買掛金	755,049	749,341
短期借入金	219,000	256,000
1年内返済予定の長期借入金	848,410	769,340
リース債務	501,325	620,394
未払法人税等	354,791	226,646
賞与引当金	36,081	35,202
株主優待引当金	2,859	—
その他	488,303	364,953
流動負債合計	3,205,820	3,021,878
固定負債		
長期借入金	1,931,382	1,977,575
リース債務	2,684,644	2,620,306
退職給付に係る負債	126,985	134,146
その他	166,287	177,017
固定負債合計	4,909,299	4,909,045
負債合計	8,115,119	7,930,923

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,134,781	1,134,781
資本剰余金	1,060,941	1,060,941
利益剰余金	8,680,514	8,985,245
自己株式	△534	△581
株主資本合計	10,875,702	11,180,386
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,047	△1,181
為替換算調整勘定	△18,252	△68,590
その他の包括利益累計額合計	△19,299	△69,772
純資産合計	10,856,403	11,110,614
負債純資産合計	18,971,523	19,041,537

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)
売上高	6,341,805	6,069,487
売上原価	4,601,769	4,640,851
売上総利益	1,740,036	1,428,635
販売費及び一般管理費	726,301	717,225
営業利益	1,013,735	711,410
営業外収益		
受取利息	7,044	4,721
為替差益	2,293	14,900
受取家賃	3,467	5,102
受取保険金	925	5,006
受取補償金	126	75
補助金収入	1,452	20,058
その他	440	2,101
営業外収益合計	15,750	51,966
営業外費用		
支払利息	31,759	34,245
業務委託費用	—	10,050
その他	209	575
営業外費用合計	31,969	44,870
経常利益	997,517	718,505
特別利益		
固定資産売却益	2,223	—
特別利益合計	2,223	—
特別損失		
固定資産除却損	3,944	1,163
特別損失合計	3,944	1,163
税金等調整前四半期純利益	995,795	717,342
法人税等	295,938	204,593
四半期純利益	699,857	512,749
親会社株主に帰属する四半期純利益	699,857	512,749

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	699,857	512,749
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△180	△134
為替換算調整勘定	△52,772	△50,338
その他の包括利益合計	△52,953	△50,472
四半期包括利益	646,904	462,276
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	646,904	462,276
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	995,795	717,342
減価償却費	540,056	605,053
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△18	△179
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2,435	△417
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	△9,166	△2,859
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	9,679	7,160
受取利息	△7,044	△4,721
支払利息	31,759	34,245
為替差損益 (△は益)	2,911	△4,211
有形固定資産売却損益 (△は益)	△2,223	—
有形固定資産除却損	3,944	1,163
売上債権の増減額 (△は増加)	△22,758	36,143
仕入債務の増減額 (△は減少)	32,279	2,287
立替金の増減額 (△は増加)	△6,801	83,695
その他	272,070	260,912
小計	1,838,051	1,735,613
利息の受取額	7,044	4,554
利息の支払額	△32,036	△35,030
法人税等の支払額	△312,145	△333,313
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,500,913	1,371,824
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△138,190	△1,238,445
有形固定資産の取得による支出	△36,815	△158,144
有形固定資産の売却による収入	3,581	—
無形固定資産の取得による支出	△2,600	—
敷金及び保証金の差入による支出	△593	—
敷金及び保証金の回収による収入	214	909
その他	246	△4,646
投資活動によるキャッシュ・フロー	△174,159	△1,400,326
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	98,000	37,000
長期借入れによる収入	—	408,700
長期借入金の返済による支出	△554,752	△441,577
自己株式の取得による支出	△23	△47
リース債務の返済による支出	△211,220	△269,576
配当金の支払額	△206,034	△207,182
財務活動によるキャッシュ・フロー	△874,030	△472,683
現金及び現金同等物に係る換算差額	△30,981	△24,108
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	421,741	△525,294
現金及び現金同等物の期首残高	3,466,046	4,135,440
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,887,788	3,610,145

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の拡大の影響に関する会計上の見積り)

当社グループは、繰延税金資産の回収可能性や固定資産の減損会計等の会計上の見積りについて、四半期連結財務諸表作成時に入手可能な情報に基づき実施しております。新型コロナウイルスの影響につきましては、2020年12月期の一定期間にわたり継続するとの仮定のもと会計上の見積りを行っております。しかしながら、新型コロナウイルスによる影響は不確定要素が多く、収束時期および経済環境への影響が変化した場合には、当社グループの財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。